

在宅医ネットよこはま北部研究会

「在宅医ネットよこはま」では在宅医療に従事する皆様と、多職種間で様々な問題に取り組んでいきたいと考えております。

今回は、進行した認知症患者さんの胃瘻の造設の是非について勉強します。様々な意見が飛び交う分野で、悩むことが多いと思います。

是非、多くの人の意見を伺いたいたく、皆様のご参加をお待ちしております。

「進行した認知症患者さんが食べられなくなったら」

日時：平成25年8月31日（土） 14:00～16:30

場所：横浜市歴史博物館 講堂

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央 1-18-1

会費 1000 円

問い合わせ先：深澤りつクリニック（担当河野） 045-914-6330

総合司会：深澤りつクリニック 深澤 立

はじめに・問題提起：在宅医ネットよこはま代表 オカダ外科医院 岡田 孝弘氏

第1部：いろいろな立場からの報告 座長 斉木クリニック 斉木 和夫氏

講演1：「胃瘻造設の現場は」

青葉さわい病院 副院長 澤井 博典氏

講演2：「家族の想いの多様性-胃瘻造設をした症例」

川崎市看護協会向ヶ丘訪問看護ステーション 訪問看護師 篠原 由紀氏

講演3：「家族の想いの多様性-胃瘻造設をしなかった症例」

都筑区医師会居宅支援センター ケアマネジャー 吉井 涼子氏

※ 講演2,3の症例について担当医からのコメント 小林クリニック 小林 雅子氏

講演4：「胃瘻の適応をいろいろな角度からみてみよう」

西神奈川ヘルスケアクリニック 赤羽 重樹氏

第2部：パネルディスカッション

座長 日横クリニック 鈴木 悦朗氏、松本クリニック 松本 麻理氏

主催：在宅医ネットよこはま北部支部、

共催：ノバルティスファーマ株式会社、都筑区医師会プライマリ・ケア医会、ケアネットつづき

後援：都筑区役所、青葉区役所、港北区役所

問い合わせ先：深澤りつクリニック（担当河野） 045-914-6330（Fax 045-914-6332）

●所在地

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央 1-18-1

●アクセス

【電車】市営地下鉄線「センター北駅」より徒歩5分

【バス】東横線「綱島駅」・田園都市線「江田駅」より東急バス綱44系統「横浜市歴史博物館前」、または綱45系統「歴博通り中央」バス停より徒歩3分

【自動車】第三京浜都筑 IC より約 3km



参加人数把握のため、ご参加いただける方はFAXをお送りください。

FAX:045-911-3303

ご所属または氏名 ()

参加人数 () 名